

石綿による疾病（肺がん）の論点メモ

- 1 肺がんの発症リスク 2 倍を基準とする考え方について  
(前回検討結果)  
→今後も維持することが適当。
- 2 肺がんの発症リスクが 2 倍となるばく露量の程度について  
(前回検討結果)  
→クリソタイルについて、文献を検証することが必要。
- 3 石綿肺所見を指標とする考え方について  
(前回検討結果)  
→今後も維持することが適当。
- 4 胸膜プラーク画像所見を指標とする考え方について  
(前回検討結果)  
→次のものは新たに要件化することが適当
  - ・ X線写真によって胸膜プラークが確認でき、CT画像によってもプラークと認められるもの。
  - ・ CT画像により胸壁内側の 1 / 4 以上のプラークが確認できるもの。
- 5 石綿小体数、石綿繊維数を指標とする考え方について  
(前回検討結果)  
→基準となる本数について、文献を検証することが必要。特に、クリソタイルのクリアランスと肺がん発症力を踏まえた議論が必要。
- 6 石綿ばく露作業従事期間を指標とする考え方について  
(前回検討結果)  
→労災決定事案の分析結果に基づき検討。
- 7 その他  
(前回検討結果)  
→びまん性胸膜肥厚に併発した場合を要件化することについて、文献を検証することが必要。